

RV3000

HITACHI
Inspire the Next

サーバ構成ビューア(OVA 版) インストールガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。
製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近なところに保管してください。

登録商標・商標

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows Server, Internet Explorer およびHyper-V は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国でRed Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

Active X, Excel, およびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iLOは、Hewlett Packard Enterprise Development LPの商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Google Chromeは、Google Inc.の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行

2021 年 2月(初版)

版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved. Copyright © 2021, Hitachi, Ltd.

目次

登録商標・商標	1
発行.....	1
著作権.....	1
1. はじめに.....	3
1.1. 本書について.....	3
1.2. ご使用上の注意	3
2. 導入と設定.....	4
2.1. 前提仮想化ソフトウェア.....	4
2.2. インストールとセットアップの流れ	4
2.3. 仮想マシンおよびゲスト OS のデフォルト設定.....	4
2.4. デプロイ.....	6
2.5. 仮想マシンのセットアップ	6
3. 導入後の運用	8
3.1. OS パッチの適用.....	8
3.2. サーバ構成ビューアのアップデート	8
3.3. サーバ構成ビューア(OVA 版)のアップデート.....	8

1. はじめに

1.1. 本書について

本書では、サーバ構成ビューア(OVA 版)の構築方法について説明します。

VMware ESXi の仮想化サーバにサーバ構成ビューアの OVA(Open Virtualization Format Archive)ファイルをデプロイすることでサーバ構成ビューアがインストールされた仮想マシンを作成できます。

本書は、次の知識を有している方を対象としています。

- VMware ESXi™及びVMware vSphere®に関する基礎的な知識
- Oracle Linux に関する基礎的な知識

本書での表記

本書では各種名称を省略して表記しています。正式名称と本書での表記を次の表に示します。

正式名称	本書での表記
Google Chrome	Chrome
Microsoft Edge	Edge
Operating System	OS
Open Source Software	OSS
Red Hat Enterprise Linux	RHEL
Red Hat Package Manager	RPM
Open Virtualization Format Archive	OVA

1.2. ご使用上の注意

サーバ構成ビューア(OVA 版)をお使いになるうえで、以下の注意事項があります。

- サーバ構成ビューア(OVA版)をデプロイして作成される仮想マシンはサーバ構成ビューアのホストとしてのみご使用ください。この仮想マシンを他の目的に使用しないでください。
- サーバ構成ビューア(OVA版)には「Oracle Linux」を含んでいますが、サポートサービスの対象は、サーバ構成ビューアのみです。

2. 導入と設定

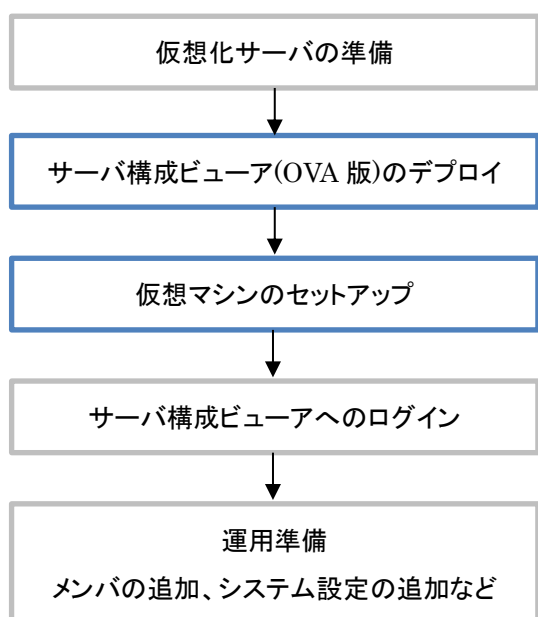
2.1. 前提仮想化ソフトウェア

サーバ構成ビューア(OVA 版)は以下の仮想化ソフトウェアにデプロイできます。

- ・ VMware vSphere® ESXi™ 6.7 U3以降
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 7.0以降

2.2. インストールとセットアップの流れ

サーバ構成ビューア(OVA 版)のセットアップの流れは下記のとおりです。



凡例

 本書の説明範囲 本書の説明範囲外

仮想化サーバの準備については、VMware 社のドキュメントを参照してください。デプロイ後はサーバ構成ビューアの新規インストールが完了した状態です。新規インストール後に必要な作業については「サーバ構成ビューアユーザーズガイド」を参照してください。

2.3. 仮想マシンおよびゲスト OS のデフォルト設定

サーバ構成ビューア(OVA 版)をデプロイすると、次に示す仮想マシンが作成されます。この仮想マシンを作成するのに十分なリソースがあることを事前に確認してください。

仮想マシンのリソース設定

No.	項目	設定
1	CPU	1 コア
2	メモリー	6GB*

No.	項目	設定
3	ディスクサイズ	64GB*

*「サーバ構成ビューアインストールガイド」を参照して必要に応じて値を変更してください。

ゲスト OS の設定

No.	項目	設定
1	OS のバージョン	Oracle Linux 7.9
2	インストール済みのパッケージ	サーバ構成ビューアの動作に必要な前提パッケージがインストールされています。
3	カーネルパラメーター	デフォルト設定のままです。
4	ファイアウォールの例外登録	OS が例外として登録しているポートの他に、次のポートが例外として登録されています。 80/tcp
5	SELinux	無効
6	ホスト名	SCVVM 注:ホスト名は変更しないでください。

2.4. デプロイ

サーバ構成ビューア(OVA 版)をデプロイする方法について説明します。

操作手順

- 1 VMware vSphere クライアントから VMware ESXi サーバにログインします。
- 2 サーバ構成ビューアのOVA(SCVVM_<バージョン>.ova)をデプロイします。
VMware vSphere クライアントで、[ファイル] -[OVF テンプレートのデプロイ]を選択して、画面の指示に従ってデプロイを実行してください。
注:デプロイ時、「必要なディスクイメージが見つかりませんでした」というメッセージが表示される場合がありますが、そのまま「完了」をクリックして、デプロイを続行してください。
- 3 必要に応じて仮想マシンのメモリー、ディスクサイズを変更してください。

2.5. 仮想マシンのセットアップ

サーバ構成ビューア(OVA 版)のデプロイが完了したあとで、ゲストOSのネットワーク設定および時刻設定を行ってください。

操作手順

- 1 VMware vSphere クライアントからサーバ構成ビューアの仮想マシンにroot権限でログインしてください。
rootアカウントの初期パスワードは”P@ssw0rd”です。セキュリティ上の理由から、お客様環境に合わせたパスワードに設定し直してください。
- 2 以下の手順でネットワークの設定を行ってください。
 - I. 以下のコマンドを実行して、ens192の自動接続設定を有効化してください。

```
nmcli connection modify ens192 connection.autoconnect yes
```
 - II. IPアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。以下は設定例です。

```
nmcli connection modify ens192 ipv4.addr 192.0.2.10/24
nmcli connection modify ens192 ipv4.gateway 192.0.2.1
```
 - III. DNSサーバでの名前解決を行う場合は、DNS接続先を設定してください。以下は設定例です。

```
nmcli connection modify ens192 ipv4.dns 192.0.2.2
```

サーバ構成ビューア(OVA版)のホスト名は“SCVVM”固定です。変更はしないでください。
 - IV. DHCPの設定を無効にしてください。

```
nmcli connection modify ens192 ipv4.method manual
```
 - V. ネットワークサービスをリスタートしてください。

```
systemctl restart network
```
- 3 以下の手順でタイムゾーンの設定を行ってください。
 - I. 以下のコマンドを実行して利用可能なタイムゾーンを確認してください。

```
timedatectl list-timezones
```

II. ご使用されている環境に合わせてタイムゾーンを設定してください。以下は設定例です。

```
timedatectl set-timezone Asia/Tokyo
```

III. 設定されたタイムゾーンと日時を確認してください。

```
timedatectl
```

4 仮想マシンを再起動してください。

```
reboot
```

5 (任意)HTTPSおよび接続先ポート番号の変更を行ってください。設定方法については「サーバ構成ビューアインストールガイド」を参照してください。

3. 導入後の運用

サーバ構成ビューアをデプロイした環境に対して、OSパッチやサーバ構成ビューアの更新する方法について説明します。

3.1. OS パッチの適用

必要に応じて実施してください。

3.2. サーバ構成ビューアのアップデート

仮想マシンにインストールされているサーバ構成ビューアのみをアップデートする手順について説明します。

操作手順

- 1 (任意)VMware vSphere クライアントからサーバ構成ビューアの仮想マシンのスナップショットを作成してください。予期せず更新に失敗した場合は本スナップショットを用いて復旧を行ってください。
- 2 scp等でサーバ構成ビューアのインストーラパッケージ(SCV_[バージョン].zip)をサーバ構成ビューアの仮想マシンに転送してください。
- 3 sshあるいはVMware vSphere クライアントからサーバ構成ビューアの仮想マシンにroot権限でログインしてください。
- 4 「サーバ構成ビューアインストールガイド」を参照し、サーバ構成ビューアを上書きインストールしてください。

3.3. サーバ構成ビューア(OVA 版)のアップデート

更新版のサーバ構成ビューア(OVA 版)を新たにデプロイし、古いサーバ構成ビューア(OVA 版)の設定情報を引き継ぐことで仮想マシンごとサーバ構成ビューアをアップグレードする方法を説明します。

操作手順

- 1 Webブラウザでサーバ構成ビューアにアクセスし、設定のエクスポートを行ってください。設定のエクスポートについては「サーバ構成ビューアユーザズガイド」を参照してください。
- 2 sshあるいはVMware vSphere クライアントからサーバ構成ビューアの仮想マシンにroot権限でログインし、仮想マシンをシャットダウンしてください。
- 3 更新版のサーバ構成ビューア(OVA版)をデプロイし、仮想マシンのセットアップを行ってください。手順については、「2.4. デプロイ」および「2.5. 仮想マシンのセットアップ」を参照してください。
- 4 新たにデプロイしたサーバ構成ビューアに、Webブラウザでアクセスし、設定のインポートを行ってください。設定のインポートについては「サーバ構成ビューアユーザズガイド」を参照してください。
- 5 (任意)仮想サーバの管理を行う場合は、ライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録方法については「サーバ構成ビューアユーザズガイド」を参照してください。
- 6 (任意)古いサーバ構成ビューアの仮想マシンが不要な場合は、仮想マシンの削除を行ってください。

サーバ構成ビューア(OVA 版)インストールガイド

初版 2021 年 2 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

<https://www.hitachi.co.jp>